



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

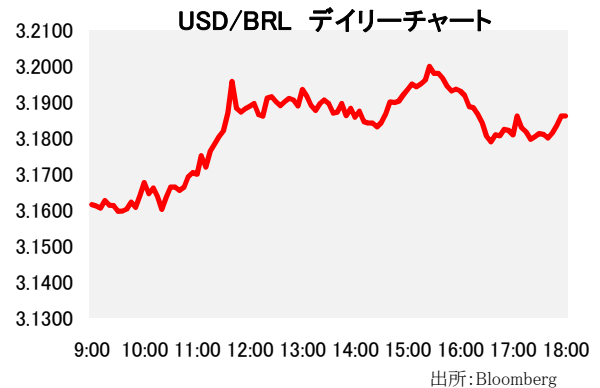
## 1. マーケット・レート

			7月1日	7月2日	7月3日	7月6日	7月7日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1490	3.0960	3.1340	3.1370	3.1860	+0.0490
	BRL/JPY	Spot	39.11	39.74	39.18	39.06	38.47	-0.59
	EUR/USD	Spot	1.1052	1.1082	1.1114	1.1056	1.1011	-0.0045
	USD/JPY	Spot	123.17	123.09	122.79	122.58	122.57	-0.01
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.260	14.152	14.135	14.152	14.133	-0.019
	Future	1Year(p.a.)	14.315	14.132	14.105	14.115	14.092	-0.023
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.418	1.443	1.497	1.572	1.566	-0.006
	USD	1Year(p.a.)	1.891	1.896	1.988	2.025	2.023	-0.002
株式	Bovespa指数		52,758	53,106	52,519	52,149	52,344	194
CDS	CDS Brazil 5y		259.43	254.56	253.85	260.24	264.59	+4.35
商品	CRB指数		224.062	224.552	224.552	217.870	215.534	-2.34

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

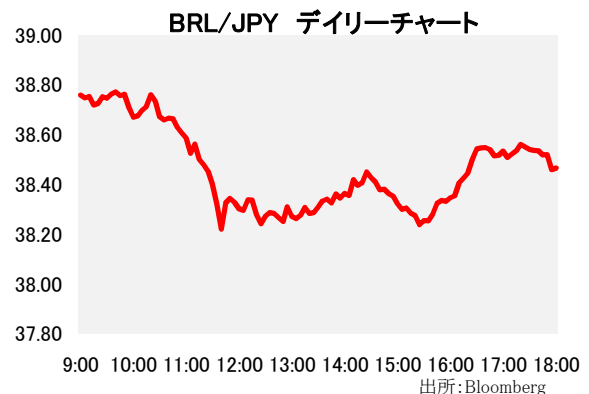
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	0.70%	0.68%	0.40%
FGVインフレ率IGP-DI(前年比)	6.25%	6.20%	4.83%
(米)貿易収支	-\$42.70B	-\$41.87B	-\$40.70B
(米)産業別求人件数	5300	5363	5334



## 3. 要人コメント

メルケル独首相	ギリシャ協議を開始する条件はまだ整っていない。9日がギリシャの詳細な提案の期限。ギリシャは多年に渡るプログラムが必要。
---------	---



## 4. トピックス

- 本日のレアルはギリシャ問題が解決を見ない中、昨日に引き続きレアル安方向に窓を開けて3.1590で寄り付いた。6月のインフレ率が予想を下回ったこともあり、レアルはオープン早々に高値となる3.1560を示現した。しかし、その後のレアルはギリシャ問題を背景にリスクオフムードで終日軟調に推移した。午後に入り本日の安値なる3.2000をつけた後、引けにかけては短期筋の利食いで小反発し3.1860でクローズした。
- ユーロ圏首脳会議が終了し、各国首脳がコメントを出しているが債権団の姿勢は厳しい。次回は12日に首脳会議が行われる予定で、9日までにギリシャが詳細な提案を提出する必要があるとされている。この会議で合意がなければギリシャのユーロ離脱の可能性が高まっている。ユンケル欧州委員長は、委員会がギリシャのユーロ離脱で詳細なシナリオを用意しているとコメントしている。
- WTI先物8月限は一時50.58ドルまで下落。引けにかけては押し目買いが入り、52ドル台前半で引けたが、終値ペースで約3ヶ月ぶりの安値となっている。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関する生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。